

篠山市歴史文化基本構想

平成23年3月
篠山市教育委員会



はじめに

文化財は、地域の歴史や文化を理解するうえで不可欠なものであり、また、過去から未来に向けて受け継がれるべき文化の向上発展の基礎をなす「貴重な国民的財産」です。これまでも文化財は、多くの方々の努力によりその保護（保存と活用）が図られてきました。

文化財には、人々の営みと色濃く関連し、暮らしとかかわりながら伝統的な意義や価値を形成してきている点や相互に有機的につながっている側面があります。文化財は、決して一つ一つが独立して存在しているわけではないのです。

こうしたことを踏まえ、平成19年10月の「文化審議会文化財分科会企画調査会報告書」では文化財を総合的に把握することが提言されました。このことを契機として、文化財施策を巡る状況が大きく伸展し、文化財の保護の在り方が『新たなステージへの歴史的転換期』を迎えることとなりました。

平成20年5月には文部科学省（文化庁）、農林水産省、国土交通省の共管で、歴史的風致の維持および向上を図るため、「地域における歴史的風致の維持及び向上に関する法律（歴史まちづくり法）」が公布されました。

平成20年度、文化庁では、新しいまちづくりの指針の策定には、地域の貴重な財産である文化財を活かした地域活性化に戦略的に取り組み、将来世代にまちづくり・地域づくりを紡いでいくことこそが大切であるとし、従来の文化財概念にとらわれず市民と共有しうる独自の視点に基づいて地域に顕在・潜在する文化財を総合的に把握し、その保存と活用を円滑に推進する基本方針である「歴史文化基本構想」の策定という発想を基軸に、「文化財総合的把握モデル事業」が創設されました。

篠山市では、歴史文化を基本に据えたまちづくりを推進しようとしていただけに、今回の事業を絶好の機会ととらえ、全国20箇所（25市町村）の事業受託自治体の一市として名を連ねることが出来ましたこと、誇りに思っているところです。

文化財は地域の独自性とも言うべき地域アイデンティティの核となるものであり、また、地域のシンボルである文化財や歴史、伝統を生かしたまちづくりは、地域の魅力の増大と活力向上の生命線となることと確信をいたし取り組んでまいりました。

基本構想策定に際しましては、篠山市歴史文化基本構想等策定委員会委員長益田兼房先生、同じく副委員長大路靖先生をはじめ各委員の皆様が熱い論議と大学等の研究機関によりまず先進的な調査研究並びに文化庁文化財部伝統文化課文化財保護調整室様及び兵庫県教育委員会事務局文化財室様等の適切なご指導ご助言を賜りましたこと、心から感謝と御礼を申し上げます。また、「歴史文化まちづくり資産集落カルテ」等の作成をはじめ、地域の歴史や文化を背景とし、地域の文化財を周辺の環境も含め総合的にとらえ、新たな価値を見いだす活動に積極的な取組をいただき、ご協力とご支援を賜りました篠山市内の各自治会の皆様に対し、深く感謝を申し上げます。

今般取りまとめました「篠山市歴史文化基本構想」は、篠山の各地域の個性ある歴史的な資産や文化財を市民と共に歴史文化のストーリーに沿って光り輝かせることにより、新しいまちづくりへの一つの潮流をつくることへの挑戦を始めたその第一歩であります。ご高覧をいただくとともに、ご指導とご助言、ご批評を賜り、基本構想をより確かなものとし、文化財を活かしたまちづくりを連綿と未来へ紡いでいくことに努めてまいります。

結びに、今後、全国の各市町村において「歴史文化基本構想」が策定され、この構想をまちづくりのツールとして地域住民と共に文化財のよりよい保存・活用がなされ、市民、地域住民にとって魅力的で住みやすいまちづくり、地域づくりの伸展に繋がることを願っています。

平成23年3月

篠山市教育委員会

目 次

はじめに

第1章 策定の背景及び目的	1
1 策定の背景及び目的	1
2 構想策定の体制	2
3 構想策定の経過	3
4 篠山市歴史文化基本構想の位置付け	4
(1) 「篠山市総合計画」、「篠山市教育振興基本計画」等及び既存事業等との関係	4
(2) 期待される効果	5
第2章 市域の概要	7
1 自然環境	7
(1) 地形	7
(2) 地質	9
(3) 水系	9
(4) 植生	10
2 社会環境	12
(1) 人口	12
(2) 産業	13
(3) 歴史的背景	15
3 「篠山市総合計画」、「篠山市教育振興基本計画」等及び既存事業等との 連携強化と保存・活用施策の充実	19
第3章 篠山市の歴史文化	21
1 調査の目的と全体構成	21
2 文化財把握調査	23
(1) 調査の方法	23
(2) 文化財把握調査の結果	24
3 詳細調査	36
(1) 調査の方法	36
(2) 景観・まちづくり調査結果	37
(3) 建造物・町並み調査結果	48
(4) 農村・自然環境調査結果	74
(5) 民俗文化調査結果	102
(6) 文化財防災調査結果	129
4 篠山市の歴史文化の特性と課題	141
(1) 篠山市の歴史文化の特性	141
(2) 歴史文化の特性から学ぶこと	142
(3) 歴史文化基本構想に向けての課題	144

第4章 歴史文化基本構想の考え方.....	145
1 基本理念.....	145
2 基本方針.....	146
第5章 歴史文化を活かしたまちづくりの進め方.....	147
1 「歴史文化まちづくり資産」の適切な保存・活用の推進.....	147
(1) 「歴史文化まちづくり資産」の保存・活用のための区域の設定.....	147
(2) 暮らしに息づく「歴史文化まちづくり資産」の保存・活用.....	147
(3) 「歴史文化まちづくり資産」を基礎とした防災まちづくり.....	149
2 歴史文化を活かしたまちづくりの仕組みの構築.....	150
(1) 各主体の役割と主体間の連携.....	150
(2) 歴史文化を活かしたまちづくりの担い手づくり.....	152
(3) 「歴史文化まちづくり資産」の情報化.....	153
3 制度・事業の連携による総合的な歴史文化を活かしたまちづくりの推進.....	155
(1) 文化財の指定等.....	155
(2) 関連計画・制度との連携.....	156
(3) 歴史文化を活かしたまちづくりを進めていくための新たな制度の創設.....	156
第6章 歴史文化保存活用計画.....	157
1 歴史文化保存活用計画の考え方.....	157
2 「市全域」の「歴史文化まちづくり資産」の保存活用計画.....	157
3 「地区」の「歴史文化まちづくり資産」の保存活用計画.....	158
(1) 「城下町地区」の保存活用計画.....	159
(2) 「街道集落地区」の保存活用計画.....	160
(3) 「農村集落地区」の保存活用計画.....	161
4 「集落」の「歴史文化まちづくり資産」の保存活用計画.....	162
【コラム】 地域の建築に携わる者の役割.....	164
おわりに.....	167
「篠山らしさ」と「歴史文化まちづくり資産」.....	167
篠山市歴史文化基本構想の実現に向けて.....	168